2026年10月28日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
9,857万kW
17時、98,567 MW（10エリア同時刻合計）

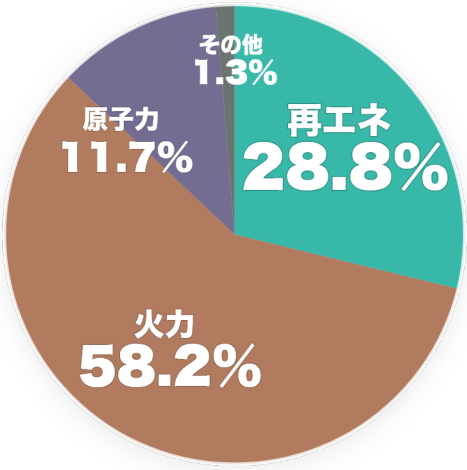
☀ 太陽光ピーク
4,390万kW
11時、43,902 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
384万kW
0時30分、3,843 MW

◇ 再エネ最大需要比
58.7%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
103 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
86.5 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 38.9%

33.4 GWh

出力抑制量

6.7 GWh

最大: 中国 4.3 GWh

揚水・蓄電の充電

63.1 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、17:00に3,093万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで38.9%でした。
- 出力抑制は東北、中国、四国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**28.8%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**619 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,150 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**58.7%**	12時
出力抑制量	**6.7 GWh**	最大: 中国
揚水・蓄電の充電	**63.1 GWh**	発電構成比には含めない

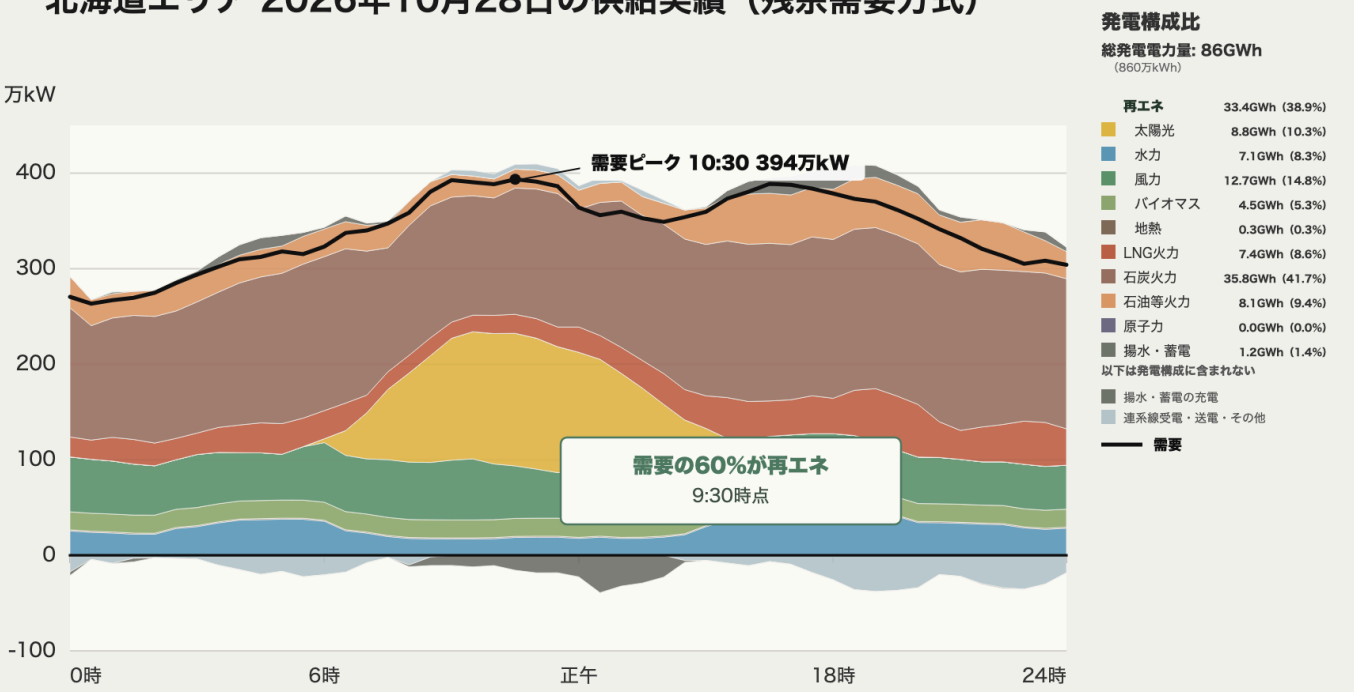
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**38.9%**	**33.4**	**0.0**	**送電 2.8**
東北	**38.4%**	**117**	**1.1**	**送電 86.5**
東京	**23.6%**	**136**	**0.0**	**受電 103**
中部	**36.7%**	**102**	**0.0**	**受電 53.8**
北陸	**32.3%**	**26.0**	**0.0**	**送電 10.3**
関西	**17.9%**	**54.3**	**0.0**	**受電 37.0**
中国	**25.6%**	**41.1**	**4.3**	**送電 13.3**
四国	**31.3%**	**29.1**	**0.5**	**送電 32.3**
九州	**31.4%**	**76.8**	**0.8**	**送電 29.3**
沖縄	**12.8%**	**2.8**	**0.0**	—

2026年10月28日の供給実績

北海道エリア

再エネ
33.4GWh
（発電電力量ベース38.9%）

北海道エリア 2026年10月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
86.0GWh

需要ピーク
10:30、394万kW

連系線・その他
3.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

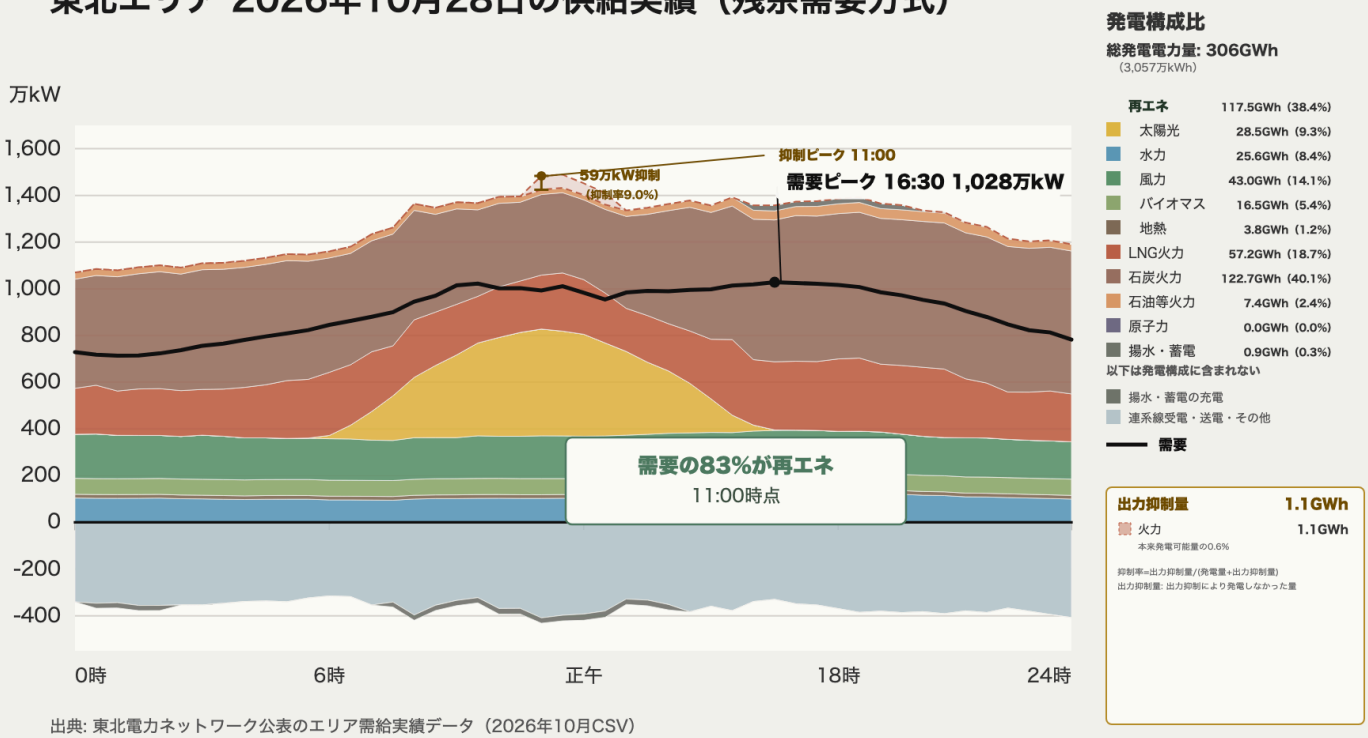
北海道は、太陽光ピーク139万kW、風力ピーク64万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.9%だった。

2026年10月28日の供給実績

東北エリア

再エネ
117.5GWh
（発電電力量ベース38.4%）

東北エリア 2026年10月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
305.7GWh

需要ピーク
16:30、1,028万kW

連系線・その他
86.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.1GWh

出力抑制
1.1GWh

概況

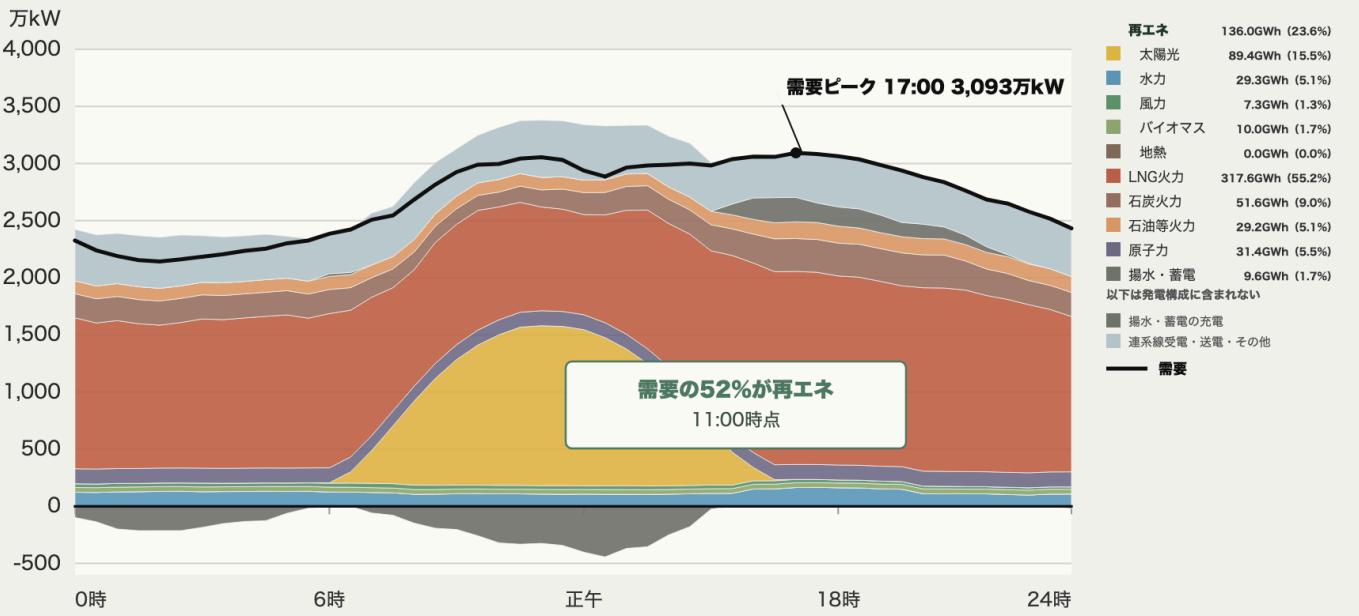
東北は、太陽光ピーク457万kW、風力ピーク191万kWで、時間別の再エネ最大需要比は83.4%だった。

2026年10月28日の供給実績

東京エリア

再エネ
136.0GWh
（発電電力量ベース23.6%）

東京エリア 2026年10月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
575.4GWh

需要ピーク
17:00、3,093万kW

連系線・その他
102.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
30.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

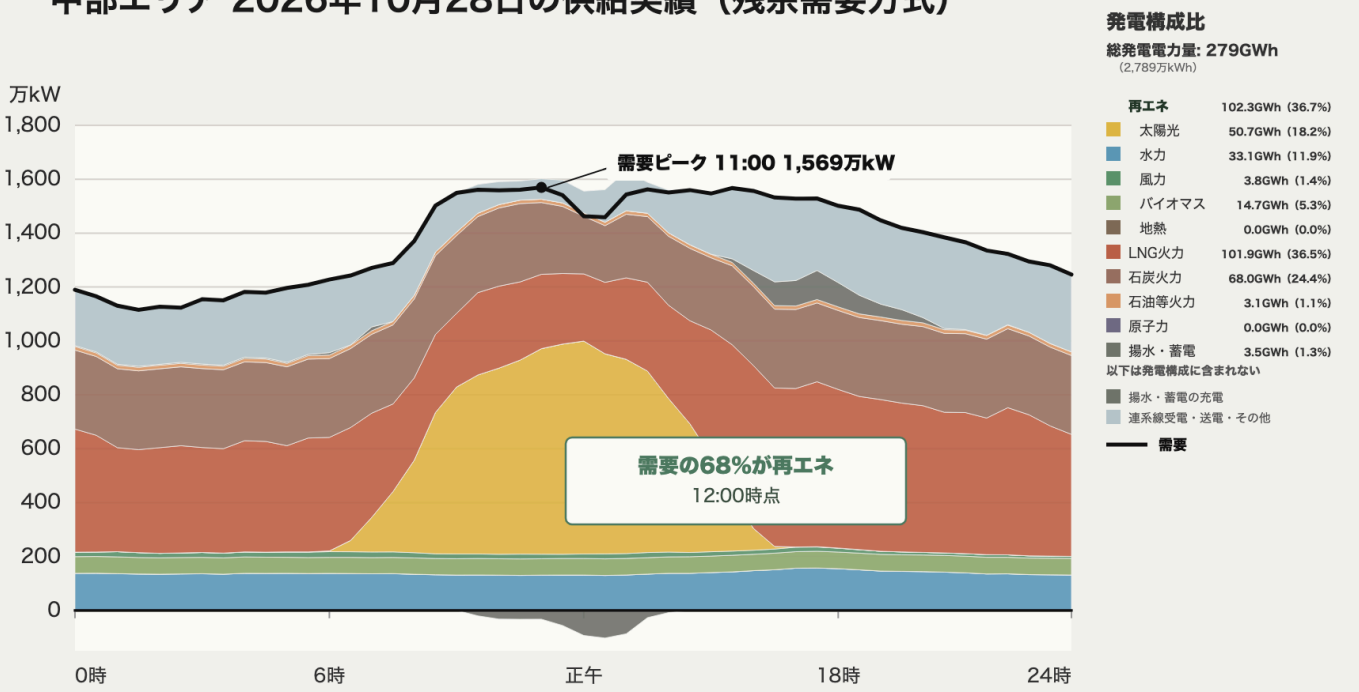
東京は、太陽光ピーク1,400万kW、風力ピーク38万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.6%だった。

2026年10月28日の供給実績

中部エリア

再エネ
102.3GWh
（発電電力量ベース36.7%）

中部エリア 2026年10月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
278.9GWh

需要ピーク
11:00、1,569万kW

連系線・その他
53.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
2.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

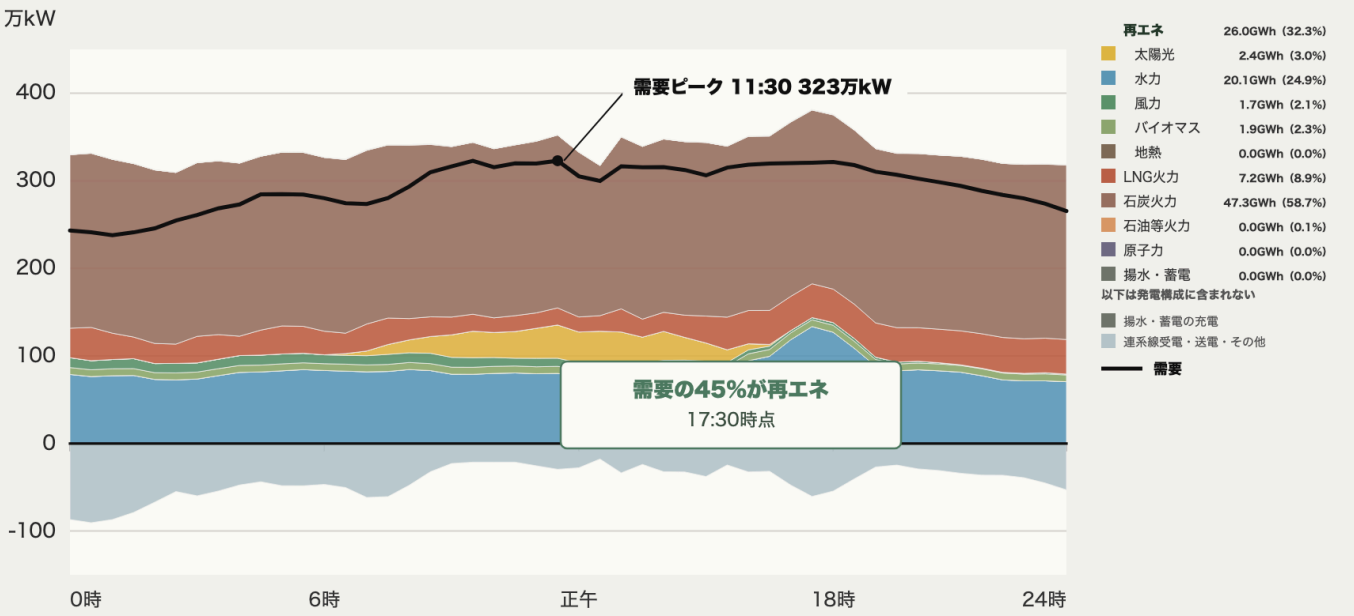
中部は、太陽光ピーク790万kW、風力ピーク21万kWで、時間別の再エネ最大需要比は68.3%だった。

2026年10月28日の供給実績

北陸エリア

再エネ
26.0GWh
（発電電力量ベース32.3%）

北陸エリア 2026年10月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
80.6GWh

需要ピーク
11:30、323万kW

連系線・その他
10.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

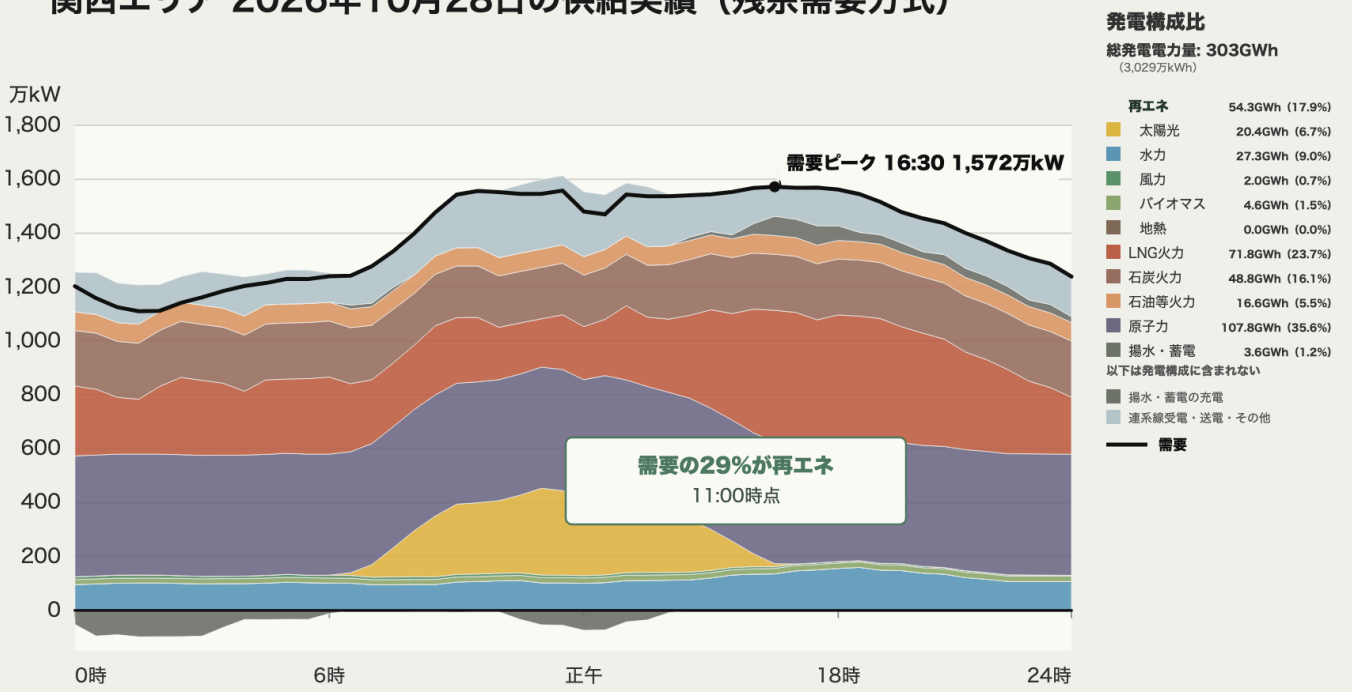
北陸は、太陽光ピーク38万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は44.9%だった。

2026年10月28日の供給実績

関西エリア

再エネ
54.3GWh
（発電電力量ベース17.9%）

関西エリア 2026年10月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
302.9GWh

需要ピーク
16:30、1,572万kW

連系線・その他
37.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
6.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

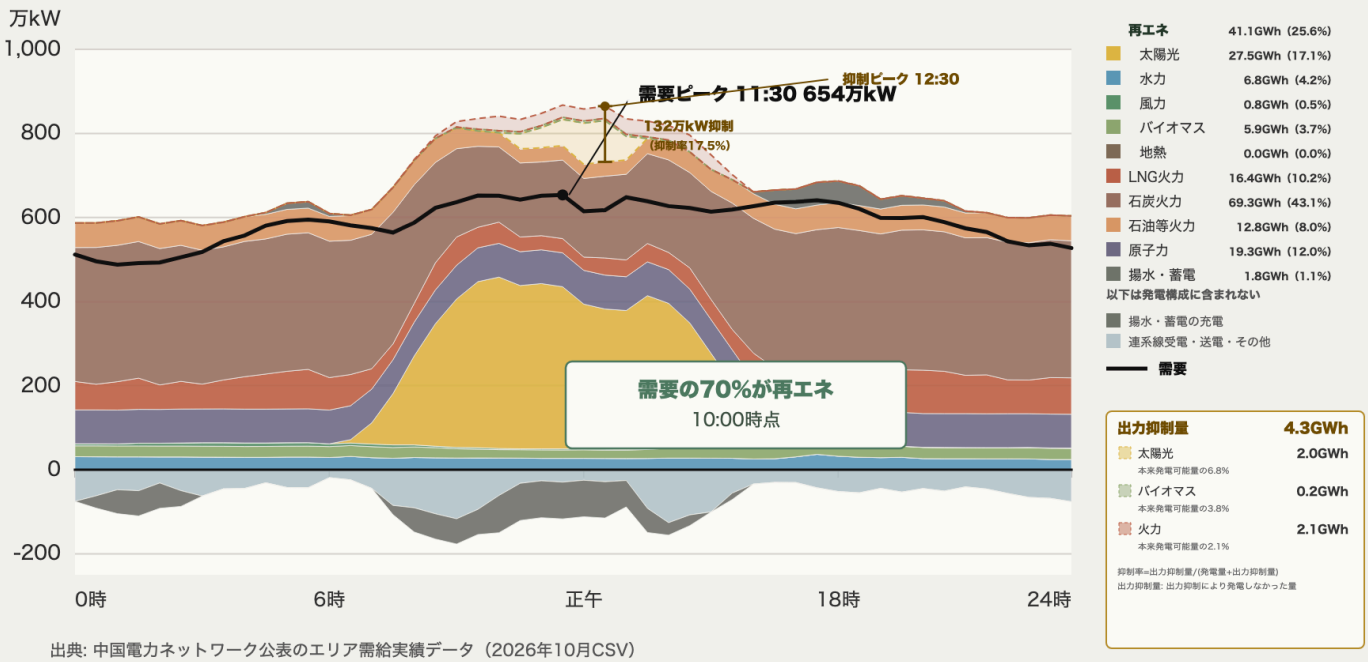
関西は、太陽光ピーク322万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は29.3%だった。

2026年10月28日の供給実績

中国エリア

再エネ
41.1GWh
（発電電力量ベース25.6%）

中国エリア 2026年10月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
160.7GWh

需要ピーク
11:30、654万kW

連系線・その他
13.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
6.1GWh

出力抑制
4.3GWh

概況

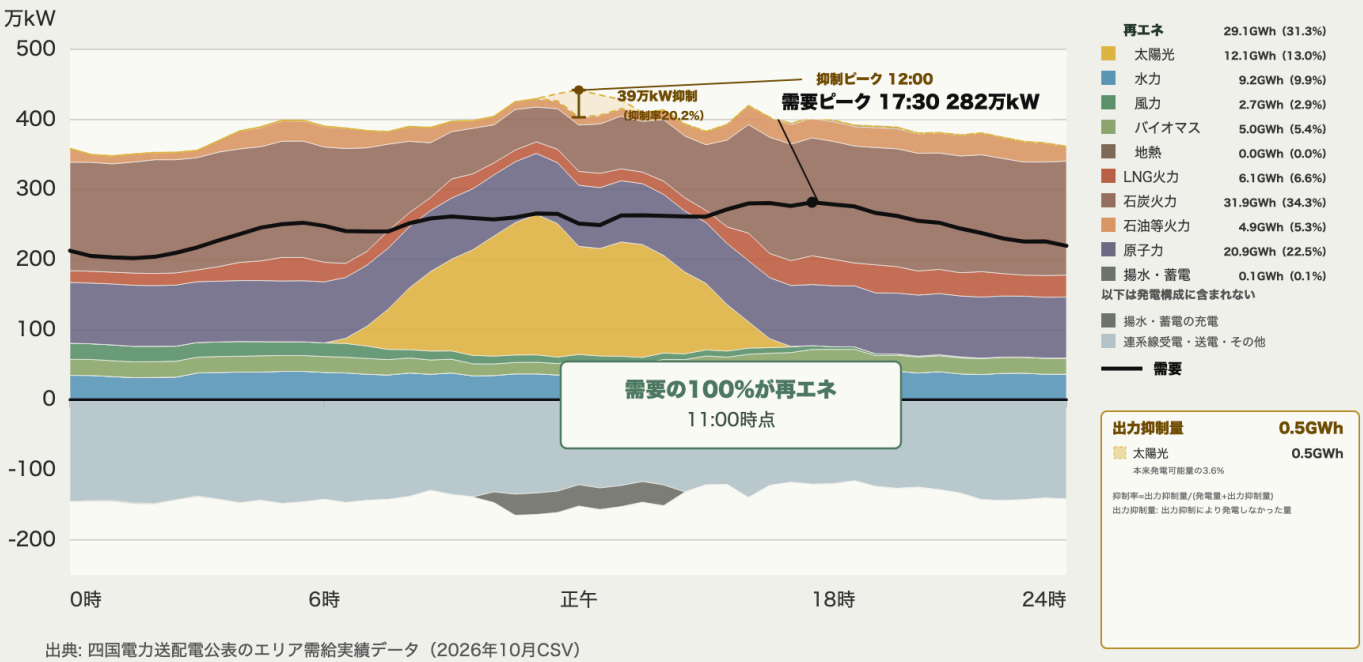
中国は、太陽光ピーク408万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は70.3%だった。

2026年10月28日の供給実績

四国エリア

再エネ
29.1GWh
（発電電力量ベース31.3%）

四国エリア 2026年10月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
93.0GWh

需要ピーク
17:30、282万kW

連系線・その他
32.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.3GWh

出力抑制
0.5GWh

概況

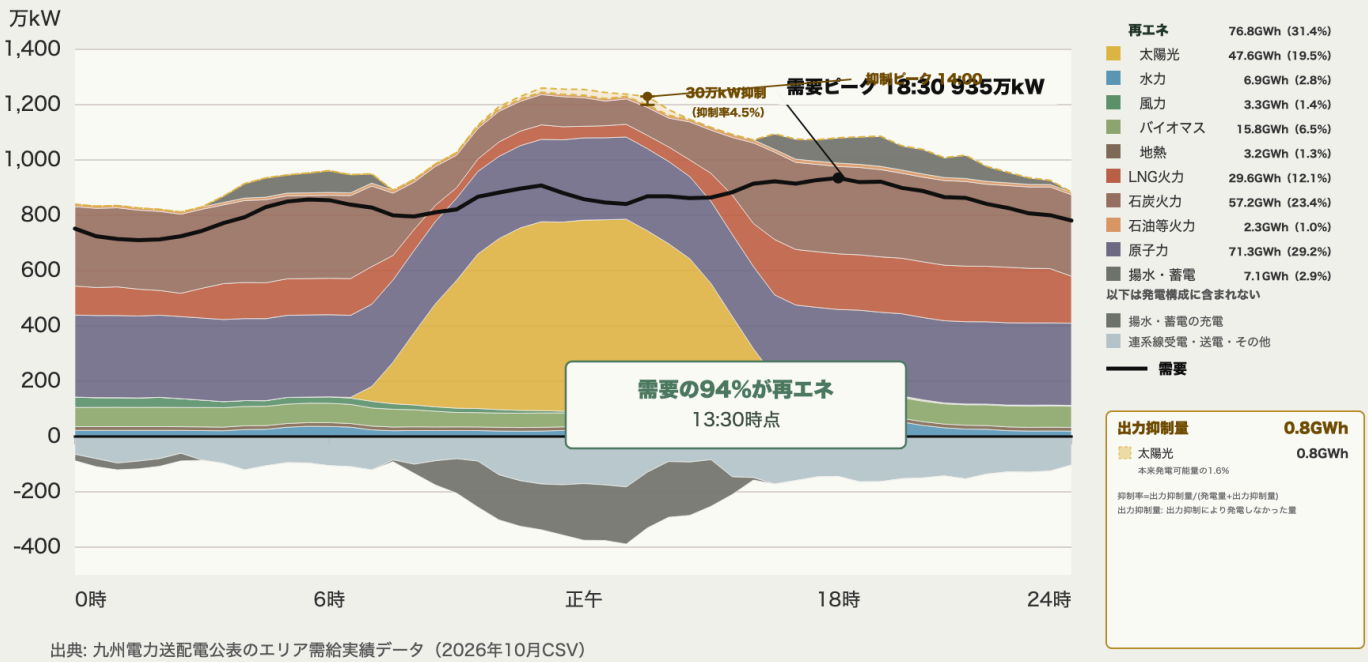
四国は、太陽光ピーク200万kW、風力ピーク23万kWで、時間別の再エネ最大需要比は99.5%だった。

2026年10月28日の供給実績

九州エリア

再エネ
76.8GWh
（発電電力量ベース31.4%）

九州エリア 2026年10月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
244.4GWh

需要ピーク
18:30、935万kW

連系線・その他
29.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
13.5GWh

出力抑制
0.8GWh

概況

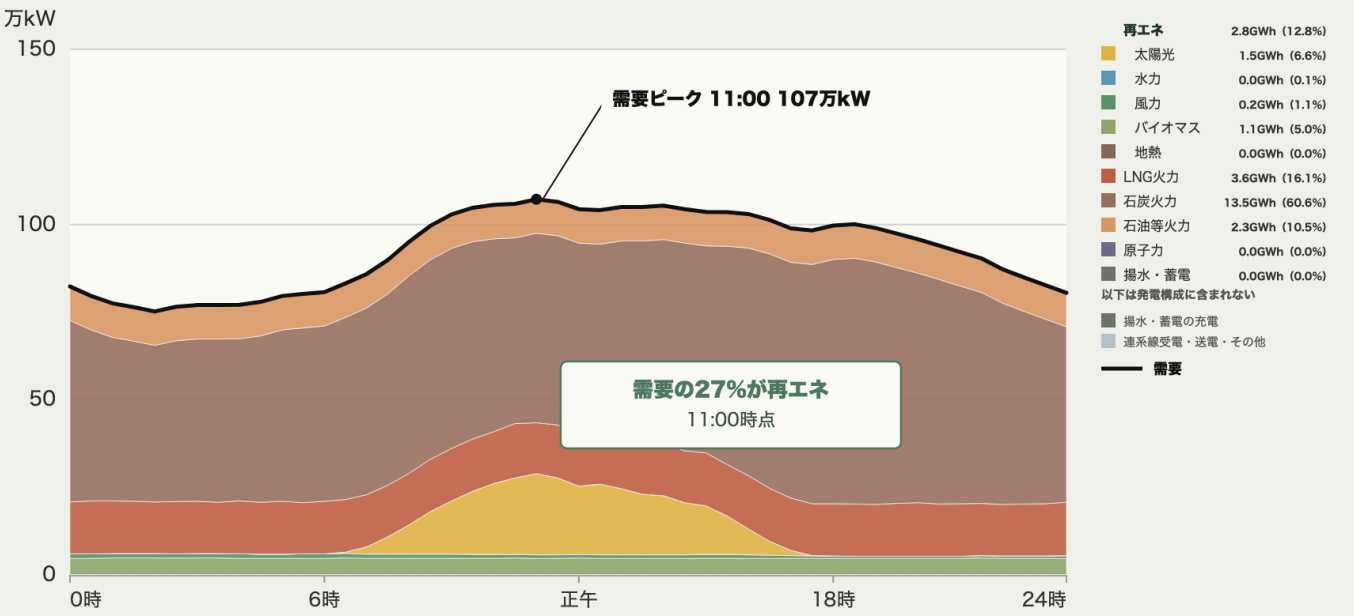
九州は、太陽光ピーク696万kW、風力ピーク37万kWで、時間別の再エネ最大需要比は93.5%だった。

2026年10月28日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.9GWh
（発電電力量ベース12.8%）

沖縄エリア 2026年10月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
22.2GWh

需要ピーク
11:00、107万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク23万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は27.0%だった。